

令和5年度

児童発達支援評価表のまとめと改善目標

特定非営利活動法人 ひなたぼっこ

サポートハウス心愛

1. 工夫している点

- ・施設も2年目に入り、個々の子供に合わせてより充実した指導内容を工夫し、落ち着いた環境が整った。
- ・子どもたちの衛生面に関しても室内をはじめ椅子、送迎バス、おもちゃの消毒を毎日徹底して行っている。
- ・保護者に対しては、面談時のみでなく送迎時にも活動内容や子供たちの様子を分かりやすく伝えるようにしている。また、アプリ「LINEWORKS」にて、土曜活動日などのイベントの案内や出欠確認等、情報共有のツールとして活用し定着している。
- ・毎月のおたよりの中で、子どもたちの様子や防災訓練の様子等、情報共有に努めている。

2. 改善目標

- ・コロナ感染症が5類に移行したことで、親子通園【土曜活動日】の中で座談会を開催するなど、保護者同士が交流する機会が増えつつある。しかし、時間には限りがある為、親子通園【土曜活動日】の内容を工夫し、より保護者同士の交流の機会を増やしていきたい。
- ・家庭支援プログラム(ペアレントプログラム)は、9月末に全家庭に通知し、10月から5回にわたり実施。参加された保護者には一定の評価を受ける事ができた。しかし、全体への周知はまだ不十分。次回開催時には面談などで保護者に声を掛け全体への周知を図りたい。そして、保護者と支援について共有していきたい。

以上のことから最優先事項として次の項目を改善目標とする。

**《保護者同士での交流を深める活動を工夫し、定着させ
家庭支援についての学習会を開催し、生活に役立たせる》**